資料2

長浜市の公共施設の有効活用の取組について

平成26年（2014年）10月14日

長浜市総務部行政経営改革室

長浜市公共施設有効活用方針

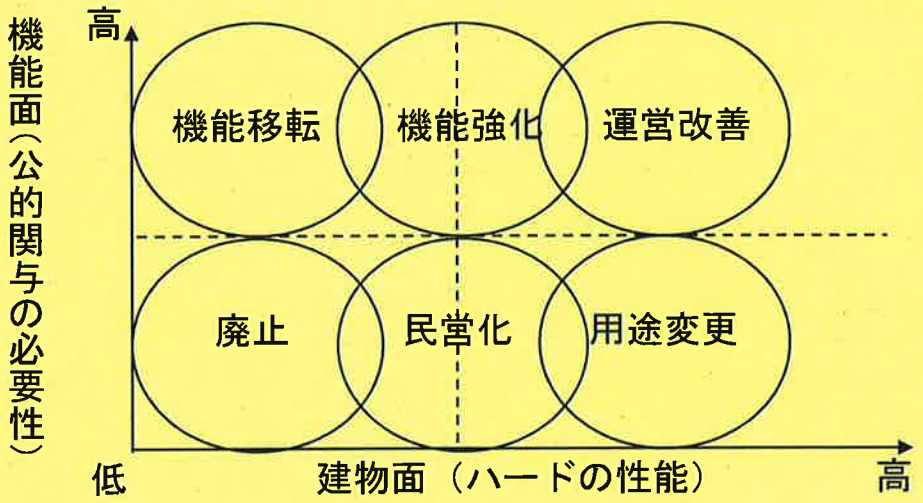
長浜市では、合併以降「長浜市公共施設有効活用方針」「長浜市公共施設有効活用計画」等に基づき、公共施設の有効活用を進めてきた。

本方針においては、「有効活用」を「より少ない費用で効果を高める」ことと定義し、「施設の維持から機能の維持へ」の視点のもと、公共施設の総体としてサービスの質の向上を図りつつも、個々の施設は管理運営形態の見直しや機能の集約などにより総量を抑制して経費節減を行っていくという、「選択と集中による量から質への転換」を基本方針として取組を進めることとする。

有効活用の取組方針

①機能の集約化の積極的な推進
②施設の適正配置
③地域による主体的な施設運営
④既存の用途・目的にとらわれない施設の多目的利用
⑤効率的・効果的な施設運営
⑥施設使用料の適正化
⑦資産としての積極的な活用
⑧将来を見据えた計画的な維持補修

有効活用の類型化のイメージ



長浜市公共施設有効活用計画

公共施設有効活用方針に基づき、公共施設の有効活用を着実に進めていくため、平成23年度から平成26年度までを計画期間とした公共施設有効活用計画を策定した。
有効活用計画では、施設グループごとに、「対象施設」「有効活用に係る基本的な考え方」「有効活用の方向性」を定めている。

有効活用計画に記載している施設グループ（施設数）

庁舎（9）	農林関係施設（4）	物販施設（9）
小中学校（41）	スポーツ施設（50）	駅関連施設（11）
保育園・幼稚園・ 認定こども園（31）	医療施設（16） ※介護老人保健施設を含む。	駐車場・駐輪場（23）
		公営住宅（31）
給食センター(7)	高齢者福祉施設（12）	都市基盤施設（141）
図書館（6）	子育て支援施設（9）	療育施設（3）
文化ホール（8）	保健センター（10）	墓地（5）
公民館施設（18）	歴史資料館（12）	地域総合センター（5）
公民館類似施設（9）	観光施設・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ施設（7）	その他の施設（2）
勤労者福祉施設（6）	宿泊施設（5）	(合計)27ｸﾞﾙｰﾌﾟ・490施設

公共施設の有効活用の取組成果（平成23年度～平成25年度）

平成23年度から平成25年度までに行った公共施設の有効活用の主な取組実績により得られた成果は、次のとおり。

項目	成果	内容
①支所庁舎の移転・利活用	・移転による支所用途の延床面積：▲2,274㎡ ・支所の空きスペースのうち、52.5%が利活用済	・３施設のうち２施設移転済（びわ支所・余呉支所） ・湖北支所庁舎の一部を社会福祉協議会へ貸付 ・高月支所庁舎へ子育て支援センター及びこども療育センターを集約 ・西浅井支所庁舎の一部を公民館に転用　など
②施設使用料等の見直し	・施設使用料等の見直しによる効果額：＋7,200万円	・公民館など３２施設で施設使用料等の見直し（+630万円） ・学校体育施設使用時の負担料の見直し（+84万円） ・農業集落排水処理施設の使用料体系の統一（+4,000万円） ・浅井簡易水道事業の料金改定（+2,500万円）　など
③公共施設の統廃合等	・施設の統廃合に伴う削減面積：▲5,008㎡ ・有効活用計画の施設数 （▲39施設） （計画）490施設 →　（H26当初）451施設	・東保育園の廃止 ・浅井勤労者宿泊研修所の解体撤去 ・びわ農畜水産物直売センターの譲渡 ・浅井、湖北の簡易水道事業の長浜水道企業団への移管 ・長浜・びわ・虎姫の学校給食センターの統合　など
④協働・連携による施設管理	・指定管理者制度導入施設の延床面積：＋6,393㎡	・指定管理導入施設の拡大（西黒田公民館、高月公民館、西浅井公民館他５施設、木之本運動広場など） （H23当初）　78施設　→　（H26当初）　87施設 ・協働利用施設サポーター制度の導入（森の楽舎、高時川運動広場グラウンドゴルフ場）　など

公共施設の有効活用の取組実績（平成２３年度）

【公共施設有効活用方針】

「有効活用」を「より少ない費用で効果を高める」ことと定義し、「施設の維持から機能の維持へ」の視点のもと、公共施設の総体としてサービスの質の向上を図りつつも、個々の施設は管理運営形態の見直しや機能の集約などにより総量を抑制して経費節減を行っていくという、「選択と集中による量から質への転換」を基本方針として、取組を進めることとする。

1　施設使用料等の見直し

住民の一体性の確保や負担の公平性の観点から、利用目的や利用形態が類似する施設間における使用料の均衡を図るため、合併時に使用料の統一ができていない公共施設やその関連施設について、施設使用料を見直した。

○見直しの内容

①類似施設は同一の料金水準により設定
②1時間単位・100円単位の料金設定
③減免基準も見直しを実施

○見直しの結果

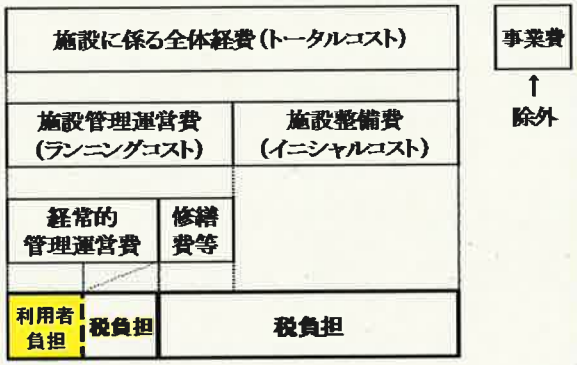
32施設で使用料を見直した。
（有料化：18施設、料金改定：14施設）

公民館・市民交流センター・山村広場
養老の館・高齢者福祉センター　など

○適用時期

平成24年4月1日から適用
（一部経過措置有）

【参考】施設に要する経費の範囲と負担区分

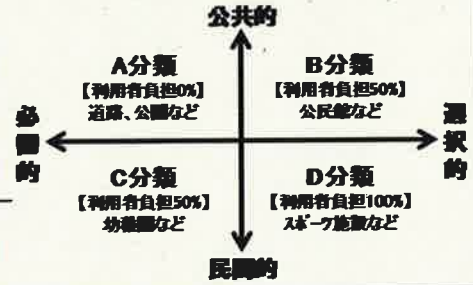


《使用料の算定方法》

使用料＝原価×利用者負担割合

$$\text{原価} = \frac{\text{経常的な管理運営費}}{\text{年間の使用可能な時間}} \times \frac{\text{使用面積}}{\text{施設面積}}$$

利用者負担割合の区分



2　農畜水産物直売施設の民営化

安定した地域の人材確保や経営基盤強化に向けた事業展開を行うことにより、施設の効果的な活用や地域の活性化、地産地消の推進を図るため、びわ農畜水産物直売センター（通称：産直びわ）について、指定管理者である農事組合法人に平成24年度から施設を譲渡した。

所在地：長浜市南浜町	敷地面積：3,492㎡
建築年：平成11年	建築面積：696㎡
構造：鉄骨造平屋建	延床面積：696㎡



産直びわ

3　協働・連携による施設の管理運営

○公民館の指定管理

西黒田公民館と高月公民館について、平成24年度から新たに指定管理者制度を導入することとし、地域づくり協議会を指定管理者に指定した。

○利用団体による管理運営

より効率的・効果的な機能維持と利用者満足度の高まる施設の管理運営を図るため、平成24年度から高時川運動広場グラウンドゴルフ場の公の施設としての機能を廃止し、主たる利用団体に管理運営を任せることとした。

○国際交流協会の活動拠点の設置

国際交流や多文化共生事業の活動拠点として、平成24年度から、国際文化交流ハウス（GEO）を長浜市民国際交流協会に貸付けた。今後は、宿泊機能の充実や他国際団体との交流など、施設の多目的利用の促進を図る。

4　支所庁舎等のあり方の検討

業務の効率化や市民サービスの質的な維持・向上を図る観点から、老朽化している庁舎の対応策や空きスペースの有効活用について検討を行い、今後の各支所庁舎等のあり方について整理した。

①　老朽化している支所庁舎・耐震性能が低い支所庁舎

支所の機能は、近隣の公共施設に移転・統合することにより、施設の効率的・効果的な管理運営や行政機能と人的資源の集約による市民サービスの質的向上を図ることとする。

移転後の支所庁舎は、安全面や防犯上の観点より、適切な時期に処分することを基本とする。

〈対象施設〉



びわ支所



虎姫支所



余呉支所

※ びわ支所の移転については、平成23年度に取組を行った。「5 びわ支所の移転」を参照

②　①以外の支所庁舎

他の公共施設や公共機関の移転先・統合先として位置付け、本来業務の支障のない範囲で施設の複合化を進めることとする。

行政と民間との利用空間が物理的に分離できるような措置を講じることが可能な場合その他建物の管理上支障がない場合は、行政と民間との一の建物による共同利用もできるものとする。

〈対象施設〉



浅井支所



湖北支所



高月支所



木之本支所



西浅井支所

《取組実現に向けた方策》

支所庁舎等再編整備基金の設置

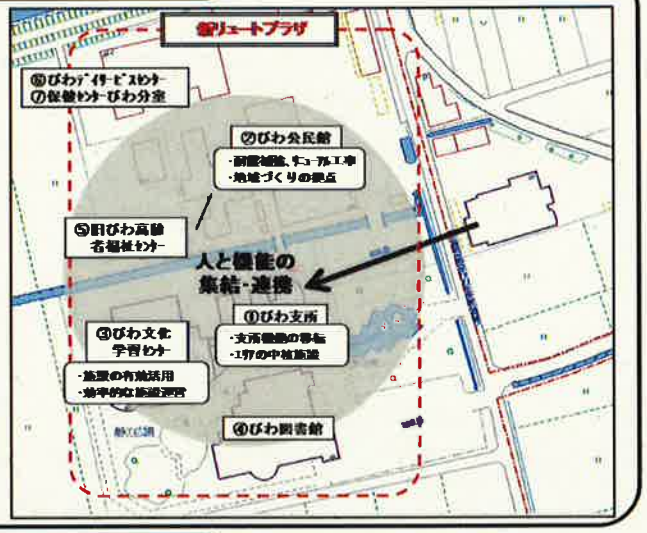
支所庁舎その他公用又は公共用に供する施設の再編、整備その他の有効活用を推進するため、支所庁舎等再編整備基金を設置した。

〈積立額〉
3億円

5　びわ支所の移転

安全安心な行政サービスの提供と施設の複合化による利便性の向上を図るため、老朽化したびわ支所をびわ文化学習センター内に移転(平成24年度)した。

合わせて隣接するびわ公民館のリニューアルを行い、地域の振興機能の拡充を図った。



平成２３年度予算額	
支所移転設計業務	300万円
文化学習センター改修費	3,000万円
公民館改修経費	9,000万円

6　施設の管理運営の効率化

○図書館運営の効率化

効率的な運営を行いつつ、市内全域にバランスよく図書館サービスを提供できるよう、開館時間や開館日数、職員配置などを見直した。

主な見直しの内容	
開館時間	△710時間
開館日数	△28日
職員配置	△2人

○駅関連施設の券売業務の見直し

利用者の利便性の向上と経費節減の観点から、虎姫駅に自動券売機を導入し、高月駅にICOCAチャージ機を設置することで、券売時間の拡大と人件費の削減を図った。

○用途変更による施設管理の一元化

利用層の拡大や施設管理の一元化を図るため、次の5施設を公民館施設に用途変更した。

変更前の施設		変更後の施設
浅井勤労青少年ホーム	→	上草野公民館
浅井林業健康増進センター	→	田根公民館
浅井林業センター	→	下草野公民館
びわ環境改善センター	→	びわ公民館
ふれあいコミュニティホール	→	六荘公民館

公共施設の有効活用の取組実績（平成２４年度）

【公共施設有効活用方針】

「有効活用」を「より少ない費用で効果を高める」ことと定義し、**「施設の維持から機能の維持へ」の視点**のもと、公共施設の総体としてサービスの質の向上を図りつつも、個々の施設は管理運営形態の見直しや機能の集約などにより総量を抑制して経費節減を行っていくという、**「選択と集中による量から質への転換」を基本方針**として、取組を進めることとする。

1　設置目的を達成した施設の廃止

○長浜市立東保育園の廃止

東保育園の近隣に民間保育所が開園したため、保育園の適正配置の観点から、平成24年度末をもって廃止した。

所在地：長浜市南小足町	敷地面積：2,149㎡
建築年：昭和49年	延床面積：541㎡
構造：軽量鉄骨造平屋建	定員：130人



東保育園と民間保育園の配置

○保健センター分室の用途廃止

施設管理の一元化を図るため、次の保健センター分室の用途を廃止した。

保健センター分室		用途廃止後の施設利用
保健センター宮司分室	→	長浜米原休日急患診療所
保健センター木之本分室	→	北部振興局の庁舎の一部

○浅井勤労者宿泊研修所の解体撤去

勤労者の福祉の向上と地域社会の発展・産業の振興を図るために設置された浅井勤労者宿泊研修所（昭和54年建築）について、一定の設置目的が達成されたため、平成24年6月末をもって廃止し、解体撤去した。

所在地：長浜市野瀬町	
建築年：昭和54年	
構造：鉄骨造2階建	
敷地面積：551㎡	
建築面積：225㎡	
延床面積：290㎡	


解体前　　解体後

2　西浅井支所・公民館等の有効活用

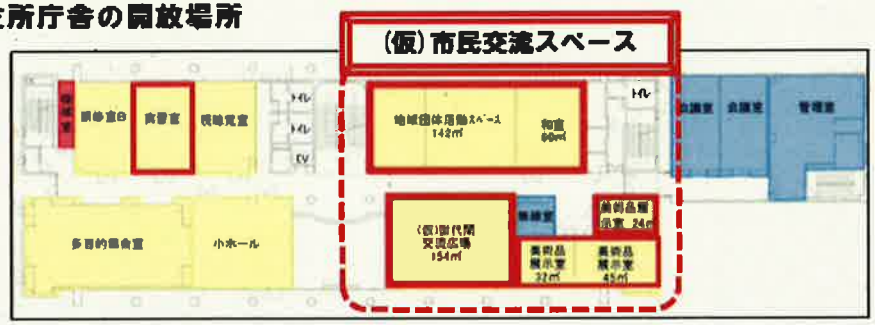
○西浅井文化ホールの公民館化

施設の利用促進と管理運営費の縮減を図るため、平成25年度から西浅井文化ホールを西浅井公民館の多目的ホールに転用した。

○西浅井支所庁舎の地域団体への開放

住民相互の交流の促進を図るため、公民館との合築施設という利点を活かして、地域住民が気軽に集い、活用できる場を提供するとともに、市で管理している美術品等を保存・管理・活用するため、西浅井支所庁舎2階の旧事務室等の空きスペースを改修し（平成25年5月完成予定）、西浅井地区地域づくり協議会に管理運営を委ねていくこととした。

支所庁舎の開放場所



○西浅井公民館等の指定管理者制度の導入

西浅井公民館、西浅井いきいきホール及び西浅井運動広場（運動場・体育館・テニスコート・グラウンドゴルフ場）について、平成25年度から新たに指定管理者制度を導入することとし、地域づくり協議会を指定管理者に指定した。


西浅井支所・公民館

3　湖北支所庁舎の一部貸付

支所庁舎の空きスペースの有効活用を図るため、地方自治法の規定に基づき、湖北支所庁舎の一部を、平成25年4月から長浜市社会福祉協議会に貸付けることとした。

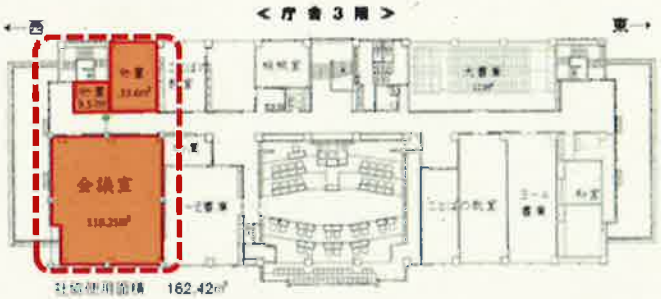


湖北支所

貸付の概要

貸付先：社会福祉法人　長浜市社会福祉協議会
貸付場所：湖北支所庁舎三階　162.42㎡
用途：社会福祉協議会の事務所として使用
貸付期間：平成25年4月1日～平成35年3月31日

貸付の場所



4　協働利用施設サポーター制度の導入

地域の住民が身近に利用する施設（グラウンドゴルフ場、運動場など）について、施設利用者（サポーター）と市が合意書を取り交わし、市民協働による管理運営を行う「協働利用施設サポーター制度」を新たに構築した。

高時川運動広場（グラウンドゴルフ場2施設）及び水源の森学習拠点施設「森の楽舎」の3施設について、平成25年度からこの制度を導入し、公共施設の利用の推進と適切な管理運営を図っていく。

制度を導入した施設



森の楽舎





高時川運動広場（グラウンドゴルフ場2施設）

5　水道事業の統合・移管

長浜市地域水道ビジョンに基づく水道事業の再編に伴い、平成25年度から浅井及び湖北の簡易水道事業を長浜水道企業団へ移管した。

引き続き広域化による水運用や経営・管理の一体化、施設の統廃合を進めることにより、運営コストの削減や給水サービスの向上等を目指していく。

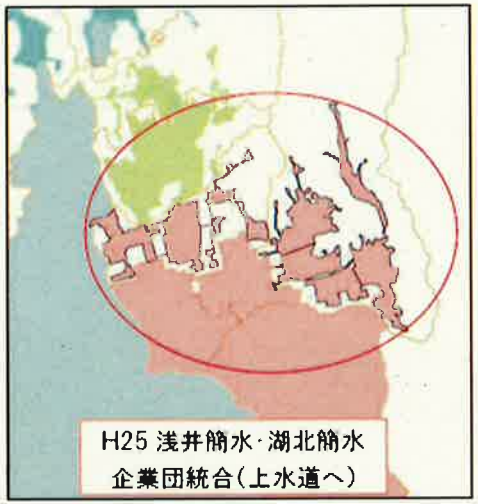
統合する簡易水道

①浅井地域

浅井簡易水道、浅井北簡易水道、浅井中部簡易水道、浅井南部簡易水道、浅井東部簡易水道

②湖北地域

湖北中部簡易水道、湖北西部簡易水道、山脇河毛簡易水道、小今賀簡易水道、湖北東部北簡易水道、郡上簡易水道事業



6　使用料等の適正化

○農業集落排水処理施設の使用料体系の統一

合併前の使用料体系のままであった農業集落排水処理施設の使用料を、公共下水道と同様の汚水量による従量制使用料体系に統一した。（平成26年度施行）

○浅井簡易水道事業の料金改定

浅井簡易水道統合事業が完了し、平成25年度より簡易水道事業から上水道事業へ移行することに伴い、水道事業の経営の安定化を図るため、料金の改定を行った。

○学校体育施設使用時の負担料の見直し

受益者負担の原則の観点に基づき、平成25年度から、小学校や中学校の学校体育施設を学校教育活動に支障のない範囲で地域住民に開放する場合についても電気代等実費相当分の負担料を徴収することとした。

公共施設の有効活用の取組実績（平成２５年度）

【公共施設有効活用方針】

「有効活用」を「より少ない費用で効果を高める」ことと定義し、「施設の維持から機能の維持へ」の視点のもと、公共施設の総体としてサービスの質の向上を図りつつも、個々の施設は管理運営形態の見直しや機能の集約などにより総量を抑制して経費節減を行っていくという、「選択と集中による量から質への転換」を基本方針として、取組を進めることとする。

1　支所庁舎の利活用

○高月支所庁舎への公共施設等の集約

地域住民に身近な行政サービスを残しつつ、隣接する保健センターと関連する子育て支援センターや療育センターなどの公共施設・公共機関を集約し、子育て・福祉に関する北部地域の拠点施設として高月支所庁舎を再編整備した。

<高月支所に集約する公共施設等>
①子育て支援センター「あいあいらんど」
②こども療育センター「いちご園」
③ことばの教室
④北部地域包括支援センター等



集約する公共施設等の位置関係

<集約前>

	教育相談室 / 会議室等	旧職場	4階
	会議室等	書庫	3階
保健センター	旧執務室	電算室等	2階
	高月支所		1階

<集約後>

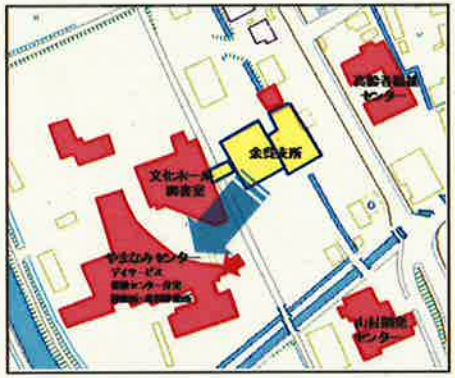
	会議室	子育て支援センター	4階
	教育相談室 / 会議室等	書庫	3階
保健センター	こども療育センター ことばの教室	電算室等	2階
	高月支所	北部地域包括支援センター等	1階

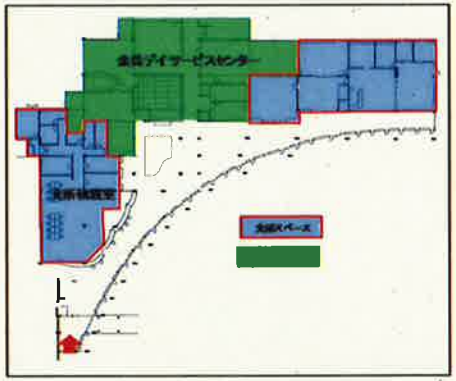
○西浅井支所庁舎の一部の公民館化

西浅井支所の遊休スペースの有効活用や西浅井公民館のスペース拡大・機能向上、西浅井地区地域づくり協議会を中心とした管理運営への一元化を目的に、西浅井支所2階部分（平成25年7月改修）を西浅井公民館に転用した。

2　余呉支所の移転

安全安心な行政サービスの提供及び施設の複合化による利便性の向上を図るため、老朽化した余呉支所をやまなみセンター内に移転（平成25年12月）した。





3　農畜産物処理加工施設の譲渡・転用

遊休施設の有効活用と地域福祉の向上を図るため、農畜産物処理加工施設チサンハウスを社会福祉法人に譲渡（平成26年3月議会で議決、譲渡は同年9月）する。

今後は、しょうがい者のグループホームとして利用していただく。

所在地：長浜市高月町渡岸寺
建築年：平成15年　　延床面積：224㎡
構造：鉄骨造平屋建　　（土地は貸付）


チサンハウス

4　公共施設の統廃合

○学校給食センターの統合

安全・安心な学校給食の提供や地産地消の推進、食育の促進等を図るため、長浜学校給食センター、びわ学校給食センター及び虎姫学校給食センターを統合し、新たな長浜学校給食センターを移転新築した。

所在地：長浜市南田附町　　調理能力：9,000食
構造：鉄骨造　2階建　　延床面積：4,356㎡
運営方式：調理業務・配送業務とも業者委託
供給対象：小学校9校、中学校6校、幼稚園8園


（新）長浜学校給食センター

○小学校の統合

上草野小学校と下草野小学校を統合し、新たに浅井小学校を設置した。

校名：浅井小学校
位置：長浜市当目町
（下草野小学校の校舎を活用）

○幼稚園の統合

少子化により園児数が減少傾向にある湖北地域において、適正規模の集団保育を確保し、就学前教育の充実を図るため、速水幼稚園と朝日幼稚園を統合し、新たに湖北幼稚園を設置した。

園名：湖北幼稚園
所在地：長浜市湖北町速水
構造：木造平屋建
延床面積：1,347㎡
園児数：約100人


湖北幼稚園

○保健センター分室の用途廃止

施設管理の一元化を図るため、次の保健センター分室の用途を廃止した。

保健センター分室		用途廃止後の施設利用
保健センターびわ分室	→	びわ福祉ステーションの一部
保健センター虎姫分室	→	虎姫生きがいセンターの一部
保健センター余呉分室	→	余呉支所の庁舎の一部

5　公共施設の屋根・市有地貸し事業の実施

安全で持続可能なエネルギー社会の構築をめざすため、再生可能エネルギーの利活用の一環として、事業者に本市所有の公共施設の屋根・土地を貸し出した。

平成25年度は、4施設・1箇所において、229.2kWの太陽光発電設備が設置された。

＜公共施設の屋根＞

設置年度	施設名	出力(kW)
H24	長浜南小学校体育館	46.0
H25	西黒田公民館	43.2
H25	湯田小学校体育館	49.9
H25	虎姫小学校体育館	39.9
H25	古保利小学校体育館	49.0

＜市有地＞

設置年度	土地の名称	面積(㎡)	出力(kW)
H25	湖北町雑種地	900	47.2

太陽光発電設備設置にかかる使用料：20年間で約1,000万円の見込み

平成25年度屋根貸し事業

市域への再生可能エネルギーの導入と災害時等における公共施設の防災機能の強化を目的として、西黒田公民館等の屋根を貸し出した。

西黒田公民館



6　指定管理者制度の導入施設の拡大

長浜市多文化共生・国際文化交流ハウス（GEO）については平成26年1月から、慶雲館及び木之本運動広場（運動場・体育館）については平成26年4月から、新たに指定管理者制度を導入することとした。


GEO


慶雲館


木之本運動広場体育館